

第1回

生活体験実践交流会

交流会の目的 各地の生活体験プログラム実践の交流を通して、目標を吟味し、方法を考え、効果を確認しようとする。

主催 NPO法人体験教育研究会 ドングリ
日時 平成28年5月7日(土) 11:00から15:30
会場 飯塚市庄内生活体験学校
参加費 200円(昼食食材費)

日程と内容

- 11:00~13:00 「子ども食堂」参観・参加、昼食。
- 13:00~13:15 基調提案
NPO法人体験教育研究会ドングリ理事長 正平辰男
- 13:15~13:35 実践報告1
サンサンキッズ3回シリーズの成果
- 13:45~14:05 実践報告2
豊前市の通学合宿—実施校区の拡大経過と現状
- 14:15~14:35 実践報告3
指定管理者となって1年—飯塚市庄内生活体験学校の今
- 14:45~15:25 総合質疑
- 15:25~15:30 閉会式

NPO法人体験教育研究会
ドングリ「子ども食堂」

今年1月中旬、NPOドングリは「子ども食堂」を試行した。小学生1人と6歳児1人が参加した。「困っている子ども」を集めることは難しいことが分かった。善意のお米1俵+10kgが寄贈された。今後の展開は？



●●● 基調提案

NPO法人体験教育研究会ドングリ理事長 正平 辰男

「子どもの生活体験プログラムを支える大人の役割」

実践報告1

サンサンキッズ 3回シリーズの成果

報告者
福岡県立社会教育総合センター
指導主事 高瀬 博

保・幼・小連携プログラム。小学校1・2年生と来年入学予定の年長児を対象に実施した。小1プロブレム解消、共感的人間関係の構築を目指して、1日・1泊2日・2泊3日の3回シリーズ。登山あり、キャンプファイヤーあり。

実践報告2

豊前市の通学合宿 10校区中8校区で実施中

報告者
豊前市教育委員会教育課
生涯学習係長 中西 繁樹

平成7年に福岡県教育委員会が始めた委託事業を受けて始めた。それ以来、市内全校区での実施を目指してきた。8校区にまで広がった通学合宿の経過と現状を報告する。多くは6泊7日で実施している。

実践報告3

指定管理者となって1年— 飯塚市庄内生活体験学校の今

報告者
生活体験学校
副校長代理 原 和也

開設以来27年を経過した生活体験学校。昨年4月から飯塚市から指定管理者を受けたNPOドングリ。指定管理者になって生活体験学校のどこが変わって、どこが変わっていないのか？
指定管理者の今を報告する。

問
い
合
わ
せ
先

NPO 法人体験教育研究会ドングリ

〒820-0111 福岡県飯塚市有安 958-1
E-mail : taiken.sch@oks.or.jp

ホームページはこちら

庄内生活体験学校

検索

<http://www.oks.or.jp/~taiken.sch/>

TEL : 0948-82-3188

FAX : 0948-82-2780



F A X 0 9 4 8 - 8 2 - 2 7 8 0

*送信票は、必要ありません

第1回生活体験実践交流会申し込み用紙			
所 属			
連 絡 先	自宅・職場	電話番号	()
住 所	〒 ー		
参加者氏名			
<small>代表者の方は 番号に○をつけて ください。</small>	氏 名	ふりがな	職 名
1			
2			
3			
4			
5			